
私の部屋の幽霊は愉快的幽霊

返歌分式

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私の部屋の幽霊は愉快的な幽霊

【Nコード】

N6507M

【作者名】

返歌分式

【あらすじ】

私の部屋は、出る。

何が出るって、アレですアレ。怪奇現象的なことを起こすアレですよ。

私の部屋は、出る。

何が出るって、もうそろそろ夏になるであろう季節に「出る」と言われれば、私の中では二つの事柄しか出てこない。

一つは部屋の中に突如出現する黒い悪魔。

もう一つは金縛りとか怪奇現象とかいう、そっち系のアレだ。

私としてはどっちも遠慮して欲しいのだが、現実は無情なのだ。
私の部屋には二つとも、出る。

床を這っているところを時々見かける黒い悪魔さんはまだいいかもしれない。

いやもうホントマジでどうでもよくないんだけど、見るたびに泣きそうになってベッドの上に避難するんだけど、まだ良い方だと思っ。

だって市販のゴキッとほいほい的な何かを設置してたらいいんだもの。

処理するとき嫌な汗が滝のように流れるのも、もう慣れたものだ。

まだ許せる。黒い悪魔はまだ。許したくないけども、許せる。

けど、金縛りとか怪奇現象を起こすアレはダメだ。
色々ダメだ。

小さい動物が無害な程度に私の部屋を駆け回っているとか、どう

せだったらそこらへんのレベルにして欲しい。

決して明らかに成人男性であろうアレが部屋の中を漂ってるのは許せない。

おい、本気でやめてよ。

私これでも健全な大学生（女）なんですけど。

怪奇現象を起こすアレでも、流石に私ドン引きを越して悟りの境地に至りそうなんだけど。

あ、ダメだ悟りを開いたら何もかも許してしまうからダメだ。頑張れ私。悟りを開くな私！

さきほど私の部屋で黒い悪魔さんが出てきたので、私はベッドの上に避難中だ。今の私は避難民なんだ。

そんな避難民の私はベッドの上でうさぎのぬいぐるみを抱いて体育座りをして現実逃避をしている。

あああー、なんだよせっかく少し値が張る高級な罨を設置してやったのに、何アイツら何かいくぐってんの。別にかいくぐってもいいから私の部屋から出て行ってくんないかな、ああちくしょう私の平穏と安眠をちくしょう、誰か約束してくれちくしょうちくしょう。

『直立不動壁抜け』

！？

私はいきなり聞こえてきたその声にバツと部屋の壁を見る。

そこにはベルトコンベアよろしくな感じに流れてくる半透明な成

人男性の姿が。

両手で胸のところにハートを作って「どや？」な顔をしている成人男性が流れてくる姿が、もうそろそろ慣れてきてしまっている私には恐怖よりも先に憤りが先に立つわけで、青筋を立ててびきびきしている流れってきた成人男性が私を見て、

『あつ』

とか言っただけで慌てて壁に戻っていくさまを見ているといっそアレを殺したくなる。

そんなことを考えている自分に「いやいやアレって元々死んでから無理無理」と説得しても、やはりその衝動を収めることができなくて胸に抱いたうさを捻り潰す勢いで抱く。

必死に息を整えている間にも、黒い悪魔は私の部屋に備え付けられたテーブルの下で我が物顔で鎮座していて、私はベッドから降りれないでいた。

あああゝもう早く出てってよ黒い悪魔めゝ。

さらにびきびきさせている私の視界の端で、壁から顔を覗かせるアレの姿が映った。

なにやら私の機嫌を伺っているようなその表情に私はもうそろそろ自分はキレていいかな、と思えてきた。

大体なんで顔半分だけ壁から覗かせてんだよ怖えんだよちくしようなんで私の部屋はちくしよう出てけお前ら出てけよお前らちくしよう！

『ファイト!』

中途半端に壁抜けしてるアレが私を励ますために、親指をグツと立てて良い笑顔で言ってきた。

私は立てていた青筋がキレる感覚に抱いていたうさぎの顔の形が変形するぐらいに強く握り締めた。

なんだか、違う方向で悟りが開けたような感じがする。

「殺す!」

『うわやっべ』

ベッドの枕元に置かれていた殺虫剤をその顔面に向けて発射した。
その後の私の部屋の惨状は、筆におこさないでも大体分かると思う。

(後書き)

暑くなってきましたね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6507m/>

私の部屋の幽霊は愉快的幽霊

2010年10月21日22時17分発行